

安城市内景況調査結果 (平成29年10月～12月)

＜ 全産業において人員不足の状態が依然として続く見通し ＞

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 101企業

2. 調査対象時期 平成29年10～12月期

(1)前年同期(平成28年10～12月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成30年1～3月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	22	26	20	33	101
構成比	21.8%	25.7%	19.8%	32.7%	100.0%

	前年同期比 (前 回)	前年同期比 (今 回)	来期の 見通し
業況判断	△13.7	△6.9	△5.9
売上高	△8.8	△5.8	△7.9
売上単価	△15.7	△6.9	△12.9
資金繰り	△8.9	△9.9	△6.8
借入難度	7.9	3.9	1.0
収益状況	△17.7	△6.9	△12.8
雇用人員	△39.9	△39.6	△37.7

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△6.9ポイントとなった。業況判断の前回実績(△13.7)と比較すると6.8ポイントの上昇であった。来期も業況判断においては緩やかな上昇が見込まれる。しかし、全産業において人員不足の状態が続いていく見通しである。

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△6.9		10.5		△30.7		20.0		△21.9	
	売 上 高	△5.8		10.5		△19.2		10.0		△21.9	
	売 上 単 価	△6.9		△26.3		△15.4		15.0		△6.3	
	資 金 繰 り	△9.9		5.3		△30.8		20.0		△21.9	
	借 入 難 度	3.9		15.8		△3.9		20.0		△6.2	
	収 益 状 況	△6.9		10.5		△11.5		0		△21.9	
	雇 用 人 員	△39.6		△42.1		△34.6		△55.0		△34.5	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△5.9		△5.2		△19.2		30.0		△28.2	
	売 上 高	△7.9		△21.1		△11.5		10.0		△15.6	
	売 上 単 価	△12.9		△15.7		△30.8		5.0		△12.5	
	資 金 繰 り	△6.8		△15.8		△19.2		10.0		△3.1	
	借 入 難 度	1.0		0		△7.7		25.0		△6.3	
	収 益 状 況	△12.8		△21.1		△15.4		△5.0		△12.6	
	雇 用 人 員	△37.7		△42.1		△23.1		△65.0		△31.3	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
 なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。